

自治を回復し、 まち・むらの課題を、 まち・むらの力で解決するために

- 協働から総働・小規模多機能自治へ -

IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]

代表者 兼 ソシオ・マネジメント編集発行人 川北 秀人

<http://blog.canpan.info/iihoe/>

*Proud to be a partner of the changes you make.
Inspiring Social Innovations since 1994.*

IIHOEって？

- 組織目的: 地球上のすべての生命にとって、
(1994年) 調和的で民主的な発展のために
- 社会事業家(課題・理想に挑むNPO・企業)の支援
 - ・「NPOマネジメント」(99年~11年)、「ソシオ・マネジメント」
 - ・育成・支援のための講座・研修
 - 地域で活動する団体のマネジメント研修(年100件)
 - 行政と市民団体がいっしょに協働を学ぶ研修(年60県市)
 - 「ソシオ・マネジメント・スクール」6テーマで開講(15年~)
 - ・調査・提言: 「NPOの信頼性向上と助成の最適化」
「協働環境」「自治体の社会責任(LGSR)」
- ビジネスと市民生活を通じた環境問題の解決
 - ・企業の社会責任(CSR)の戦略デザイン(年20社)
- 2020年の地球への行動計画立案
- 専従3名(うち育休復帰直後1名!)、東京(新川)、約4200万円

冒頭に、お詫びとお願い

- 本来なら、数時間かかるお話の要点を、いただいた
時間内でお話するため、かなり駆け足です。。
- 著作権の関係で、配布できない資料がございます。
出典をお伝えしますので、のちほど検索を。
- 聞くだけ・記憶するのではなく、
伝えて一緒に動くために、手帳・予定表にメモを。
- 子どもを暴力の被害者・加害者にもしない「CAP」を
各地に広げるための支援に、ご協力・ご寄付を
お願いいたします。同額を私も寄付します。
- 弊所刊行書籍販売中。今日だけ特別割引!
「ソシオ・マネジメント」第3号「小規模多機能自治」好評発売中



自治とは、

自分(たち)で決めて、
自分(たち)で担うこと。

日本の地域・住民には、
担う力はある!

問題は、決める力の弱さ。。

理解して動くよう、決めるためには、
場・機会と、材料が不可欠!

「わからん」「悩んだる」は、
「判断の材料を懸命に探しているが
まだ見つからない」のか、
「判断をしない・先延ばししてる」のか、
いずれか。

決めたくないなら、
決めないのも自治。
ただし、修正してでも決めて進めた方が、
生き残る確率は高まる。

南砺で暮らしません課 石本さんのお話から
・自治会354、小域、1戸1票、活動<慣習的行事、常勤職員困難
⇨自治振興会31、広域、1人1票、事業・規模メリット、常勤可能
・井波:4886人、町内会、社会教育、社会福祉、その他、消防団 計5G
収入 交付金618万など計773万⇨支出 助成・負担396万、事業219万
・広瀬:1181人、部会制とらず、自治会長、公民館長など理事26人
収入 交付金246万など計782万⇨支出 助成・負担325万、繰越268万
・上平:636人、部会制とらず、区長、総代など理事20人
収入 交付金254万など計377万⇨支出 負担・補助91万、事業34万
・雲南市:組織+拠点+常設事務局(+部会!)
・市民の課題:会議参加できない、役付きのみ+1・2年、団体活動繁忙
振興会の課題:課題話せず・取り組めず、組織改革できず、行事繁忙、
ボランティア、若い人・女性の意見聞きたいけど役員でない、1人何役?
行政の課題:縦割り、役を設けても振興会側で「何から手を付ける?」
・広瀬地区社協:敬老会、高齢者の支え合い、子ども教室、助成金利用なし
・同 公民館:管理運営、レク大会・まつり、イベント、機関紙発行、研修
※「事業型」めざすなら実施体制? 「課題」と「与件」?

「人口増」(または維持)は、
すべての課題を解決してくれる
万能解ではない。

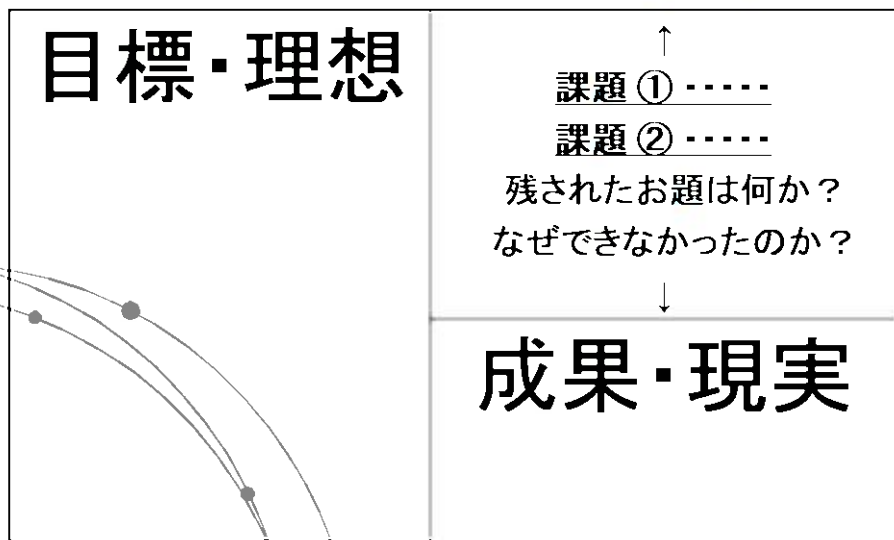
既に住んでる人はさらに高齢化し、
世界市場競争はさらに激化する。

よりよいまちづくりは、
理想を追いつつ、課題解決も!
(小さな規模でも多様な機能を)

その困りごとは、
課題か、与件か?

- 課題は、目標と現実との差。
 - その差をどう埋めるか?
例:少子化←「産みたいけど産めない」
- 与件は、まあ、個性として、
あきらめつつ、付き合い続ける。
例:多老化→元気に活躍してもらおう!

課題とは、目標・理想と成果・現実との距離
 → 目標が抽象的だから、課題が不明確



まちの力は、関係の密度がつくる
 人口密度より人「交」密度！

小規模
多密度
P25

元気な地域は、人数ではなく姿勢が違う
 ・町(区域)でも街(建物の集まり)でもなく、
 「まち」: 人と人との関係 イベントが足りなかった時代はイベントを、
支え合いが足りない時代は、支え合いを
 ・住み続ける地域の未来のために、本当に
 大切なことを実現できるよう全力を尽くす。
 出し惜しみしない、できないフリしない、
 あきらめない、
 「誰かがどうにかしてくれる」なんて甘えない

2020年の世界・日本は？

- 中国のGDPは、日本の何倍？
- 中国+インド+ASEANと、アメリカ・EU どちらが大きい？
- 日本の国民一人当たりGDPは何位？
 -00年4位→05年20位→10年17位→14年27位！
- 高齢者率は？→社会保障(医療・介護)費はいくら増？
 -00年 高齢者2200万人 医療10兆+介護3兆→10年 2948万 12兆+7兆
 →20年 3612万 16兆+9兆(=+5兆)? ←生産人口11%減！
- 既存インフラ&ハコモノの維持・更新費用は？
 -法定耐用年数(50年)を経過するインフラの比率
 橋 13年18%→23年43%→33年67%、トンネル20%→34%→50%
 -水道 66万km 法定40年経過12%⇔更新0.7%! 「130年かかると想定」
- 国債の残高は？→消費税は、いくら必要??
 →世界市場での存在感も、地域も国も「このまま」じゃ全然ダメ！

介護ニーズは80歳代で急増する→高齢化「第2幕」へ

単位:千人	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
65-69歳	7,433	8,210	9,644	8,239	7,163	7,467
要介護3以上	63	68	79	67	59	61
人口比/構成比	0.8%/4.8%	0.8%/4.1%	0.8%/4.1%	0.8%/2.8%	0.8%/2.1%	0.8%/2.0%
70-74歳	6,637	6,963	7,696	9,233	7,808	6,808
要介護3以上	122	121	128	153	129	113
人口比/構成比	1.8%/9.4%	1.7%/7.3%	1.7%/6.6%	1.7%/6.4%	1.7%/4.7%	1.7%/3.6%
75-79歳	5,263	5,941	6,277	7,111	8,492	7,196
要介護3以上	199	226	220	250	298	253
人口比/構成比	3.8%/15.3%	3.8%/13.6%	3.5%/11.3%	3.5%/10.5%	3.5%/10.8%	3.5%/8.1%
80-84歳	3,412	4,336	4,961	5,405	6,105	7,382
要介護3以上	274	351	386	420	474	574
人口比/構成比	8.0%/21.0%	8.1%/21.1%	7.8%/19.8%	7.8%/17.6%	7.8%/17.2%	7.8%/18.4%
85-89歳	1,849	2,433	3,117	3,740	4,081	4,672
要介護3以上	297	407	500	600	655	750
人口比/構成比	16.1%/22.9%	16.7%/24.5%	16.1%/25.7%	16.1%/25.2%	16.1%/23.7%	16.1%/24.1%
90-94歳	841	1,022	1,349	1,838	2,239	2,496
要介護3以上	237	311	411	561	683	761
人口比/構成比	28.2%/18.3%	30.5%/18.7%	30.5%/21.2%	30.5%/23.5%	30.5%/24.7%	30.5%/24.5%
95歳以上	237	341	421	625	883	1,138
要介護3以上	108	176	222	330	466	601
人口比/構成比	45.6%/8.3%	51.7%/10.6%	52.8%/11.4%	52.8%/13.9%	52.8%/16.9%	52.8%/19.3%
計	25,672	29,246	33,419	38,503	43,000	48,000
要介護3以上	1,300	1,661	1,911	2,211	2,511	2,811
85歳以上	2,927	3,795	4,867	5,403	6,103	7,103
要介護3以上	643	895	1,134	1,491	1,804	2,112
人口比/構成比	22.0%/49.4%	23.6%/53.9%	23.2%/58.3%	24.0%/62.6%	25.0%/65.3%	25.4%/67.9%

85歳以上の4人に1人が要介護3以上
 要介護3以上の2人に1人が85歳以上

南砺市も、これまで20年と、これから20年は違う

668.64km ²	1995年	2005年	2015年	2025年	2035年
計(人)	62,965	58,140	51,140	44,863	38,178
			→▲18%		→▲25%
0~14歳	9,334	7,106	5,622	4,368	3,428
			→▲39%		→▲39%
15~64歳(A) (生産人口)	39,848	34,473	27,152	22,305	18,714
		100%	78% ▲31%	64%	54% ▲31%
65歳~ 高齢者率	13,783 21.9%	16,561 28.5%	18,513 36.1%	18,190 40.5%	16,036 42.0%
			→+34%		→▲13%
(65-74歳)	(8,003)	(7,817)	(8,485)	(6,720)	(5,027)
75歳~	5,780	8,744	10,028	11,470	11,009
			→+14%	→+12%	→▲4%
85歳~(B)	1,379	2,410	3,685	4,444	5,357
		100%	152% 152%	184% 15%	222% 20%
A÷B	28.9人	14.3人	7.3人	5.0人	3.4人

2020年の南砺市は？

- ・高齢者率は？→38.9%(全国より30年早い)！
- ・75歳以上は？→10,295人(人口の5人に1人)！
 - ・ヘルパーなど、福祉の担い手は、あとどれだけ必要？
 - ・社会保障(医療・介護)費は、いくら増える？
 - 高齢者の健康=地域の資源+資産！
- ・生産人口は？→10年比21%減⇔後期高齢者4%増
- ・市税収入は？
 - 公共施設等総合管理計画(15年9月)
 - 公民館・学校・住宅など437か所50万㎡ 1人当たり県内平均の2倍
 - 市道1368km 橋845 上水646km 下水681km
 - ハコモノ更新 今後30年で2213億円=73億円/年必要
- ・既存インフラの
 - 道、橋、公営住宅
 - 直近3年平均41億円=31億円/年不足
 - インフラ同 1777億円=59億円/年必要⇔直近28億円=31億円不足
 - 人件費・扶助費・公債費に次ぐ「第4の義務的経費」
- ・市債残高は？ 利息は1日いくら？
- ・消費税は、いくら必要？

南砺市の高齢者・後期高齢者のくらしは？

	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年
人口(千人)	58,140	54,724	51,327	48,214	44,863
高齢者	16,561	17,028	18,513	18,772	18,190
後期高齢者	8,744	9,813	10,028	10,295	11,470
人口比	15.0%	17.9%	19.5%	21.4%	25.5%
要介護3以上	1,067:12.2%	1,233:12.6%	1,362:13.6%	1,398:13.6%	1,558:13.6%
世帯数	16,980	16,930	要介護3以上 1人1日1万円として 年365万円 自治体負担15%=55万円 5,011		
高齢者単身	1,209 239+970	1,498 343+1155	196人増=1億円増! どう賄う? 875 全国平均11.6% 全国並みで1.2億減!		
後期高齢者 単身	676 126+550 7.7%	968 195+773 9.9%	1,131 232+899 11.3%	1,252 261+992 12.2%	1,461 306+1155 12.7%
高齢者夫婦	1,447	1,616	1,923	2,027	2,024
後期夫婦	389	582	689	770	902
高齢世帯率	15.6%	18.4%	22.1%	24.5%	26.0%
後期世帯率	6.3%	9.2%	11.0%	12.7%	15.7%

南砺市の財政はどう推移した？

単位:億円	05年度	10年度(05比)	15年度(同)	05年→15年人口 -11%
歳入	388.4	396.8	396.5	
市税(対歳入)	70.6(18%)	70.4(17%)	68.4(17%)	⇔全国32%
個人(同)	18.1(4%)	22.3(5%)	22.5(5%)	2005年→20年 生産人口 -29%
法人(同)	5.5(1%)	4.1(1%)	4.8(1%)	後期高齢者 +17%
固定資産(同)	42.7(11%)	40.4(10%)	36.9(9%)	
地方債	43.3(11%)	47.2(11%)	56.8(14%)	⇔全国8%
歳出	366.9	377.1	371.7(+1%)	ハコモノ+インフラ 更新に年62億不足
職員給与	41.7	32.7(-21%)	29.9(-28%)	
職員数	758	615(-18%)	552(-27%)	職員1人あたり 住民93人⇔全国148人
公債	59.3	57.9	54.0	
公営事業繰入	41.1	54.8	62.7	
(国民健康保険)	(3.0)	(3.8)	(5.5)	
(下・簡易水道)	(20.6)	(23.3)	(23.4)	
(病院)	(5.3)	(11.2)	(14.6)	
(介護サービス)	(1.4)	(1.0)	(0.7)	
(他介護保険等)	(10.6)	(15.3)	(18.3)	
扶助費(対歳出)	16.4(4%)	25.7(6%)	31.1(8%)	⇔全国21%
将来負担(対税収)	348.1(4.9倍)	260.3(3.7倍)	239.0(3.5倍)	住民1人あたり465,651円 ⇔全国444,500円
地方債残高	490.2	422.3(-13%)	448.2(-8%)	
支出予定	18.7	6.9(-64%)	24.0(+28%)	
積立金	160.8	168.9(+5%)	233.2(+45%)	金利0.5%で 利払2.2億円/年 =61万円/日

雲南市の地域自主組織のすごさ

「公民館」から「地域交流センター」へ

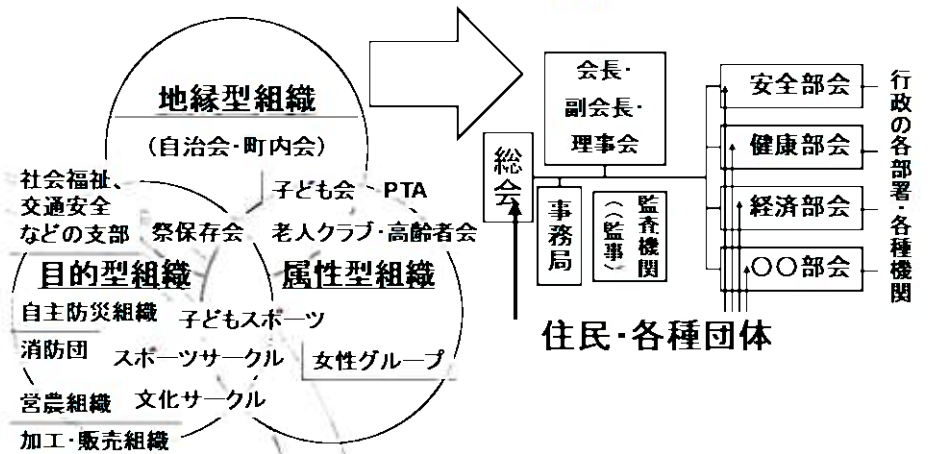
- ・共益的な生涯学習施設から、住民自治の拠点へ
 - ・多様な主体の「総働」による「小規模多機能自治」
 - ・行政機能縮減を補う「適地適作(策)」の地域づくり
 - ・幼稚園放課後に住民主導で預かり保育(海潮)
 - ・旧・農協で産直市&100円喫茶(中野・笑んがわ市)
 - ・水道検針を受託し毎月全戸訪問(鍋山)
 - ・共通の「基本機能」と独自の「魅力づくり」
 - ・最小限の安全・安心をどう維持するか？
 - ・文化・伝統をどう残すか？
 - ・経済的な循環・競争力をどう維持するか？
- 年2回の「自慢大会」と課題別「円卓会議」で事例共有



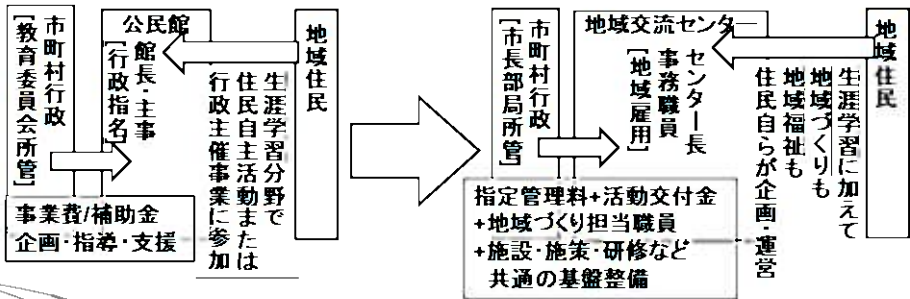
多様な団体の併存から、総力を結集した経営組織へ

おおむね(小)学校区域で多様な団体が併存(1世帯1票制)

総力を結集し、課題を自ら解決する住民自治のプラットフォーム(1人1票制)



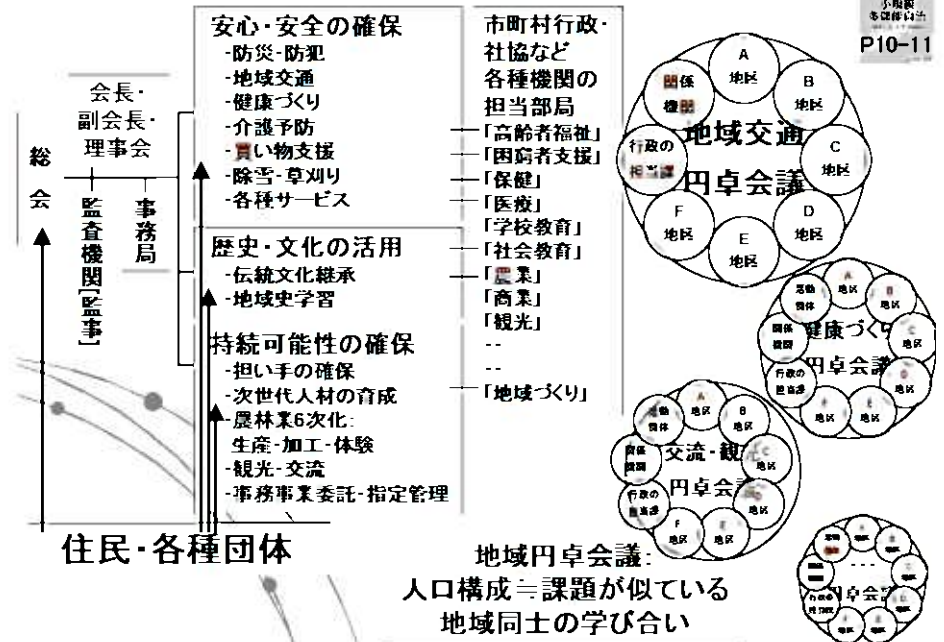
拠点施設を確保し、組織と一体化する (公民館から「地域交流センター」へ)



行政が提供する施設
→住民は、行政が企画・管理し、人事権も持つ施設の利用者にすぎない

住民による「地域経営」の拠点
→住民は、地域づくり・生涯学習・地域福祉を自ら企画・運営する主権者・経営者
→「持続可能性の確保」、「安全・安心の確保」、「歴史・文化の活用」を重点課題に

地域の課題に事業で応える分野横断型の地域経営体へ



住民・各種団体

地域円卓会議：人口構成≒課題が似ている地域同士の学び合い

- もう一步踏み込んで考えるために
- ・当たり前ですが、5年経つと、周囲も、自分も、5歳ずつ年を取る
 - できない・難しい・時間がかかるが増える
 - ・時間は同じな(減る)のに、優先順位が違う
 - 対応力が落ちるのに、突発事項は増える
 - 「残す・減らす・増やす・始める」は冷静に！
 - 予防・緩和できることは、始めておく！
 - ・「団体ごとに行事」ではなく、「地域のための機能・役割」
 - 「自主防災組織」より「合同災害対応訓練」
- 地域の変化を見越して、事業と組織の進化を

-29-

人口減・85歳以上増に備えるには、 時間の使い方を変えるしかない

- ・行事の棚卸し
 - ますます行事<事業=福祉+経済！
- ・会議の棚卸し
 - 時間を最大限に活用するために、
話す・調整するより、現場で動く時間を！
- ・組織の棚卸し
 - 会・団体・自主組織の部会は毎年白紙に
(会の数だけ役がある！)

-30-

次の10年に求められる自治組織の機能？

- ・人口構造の見通し(予測)をつくる！
 - 何年後までにどうなりそうかを見通す
- ・住民調査で「事業・サービスへの評価」と「困りごと・不安」「これなら手伝える」確認！
 - 部会メンバーの希望<住民の需要！
 - +提供できる事業を、少しずつ積み重ねる
- ・部・部会は、継続より進化・再編を！
 - ①被災者支援訓練 ②子どもの地域参加
③料理で女性の世代間交流 ④「夜」行事

-31-

「若い人」を巻き込むなら

- 「若い人」の都合も考える！
 - 早く決める、文句言わずまかせる
- 子どもの行事と連動する！
 - スポ少、おけいこ、PTAとの連携
- 料理好きな女性は活躍する！
 - 伝統料理の勉強会は、
地域の先輩との交流機会！

-32-

「加茂地域づくり調査」(2012-H24年)での

「満足度-重要度」を再確認すると

小規模
多機能
P42-45

地域の付き合い	不安・悩みの相談
草刈り・河川清掃	子どもの安全
美化・保全(植栽・側溝清掃)	子育て相談ができる人・場
消防・防災	保護者同士の交流
防犯	農地・山林の維持管理
広場の維持管理	農林業・特産物の振興
まつり・イベント	地域での収益事業
広報	生涯学習
敬老会・子ども会など行事	スポーツ
健康体操・講座	加茂町全域スポーツ大会
高齢者支援	歴史・文化の保安全管理・活用
障害者支援	伝統文化・芸能の継承
結婚対策	

「満足度-重要度」=「これ大切！」ギャップはどこに

小規模
多機能
P42-45

	10-20	30-50	60+	老若差	丸数字青「若高老低」黄「若低老高」	結婚対策	-25	-39	-45	P42-45
地域の付き合い	-35	-40	-18	③-17		不安・悩みの相談	-33	-42	-32	④-1
草刈り・河川清掃	-43	-48	-32	-11		子どもの安全	-28	-50	-26	⑤-2
美化・保全・清掃	-36	-37	-22	⑤-14		相談できる人・場	-37	-49	-28	-9
消防・防災	-45	-55	-38	-7		保護者同士の交流	-26	-35	-22	-4
防犯	-57	-73	-45	-12		農地・山林維持管理	-28	-46	-39	②+12
広場の維持管理	-38	-45	-31	-7		農林業・特産物振興	-27	-39	-29	③+2
まつり・イベント	-16	-13	+3	②-19		地域での収益事業	-26	-26	-22	-4
広報	-9	-8	-1	-8		生涯学習	-23	-21	-19	-4
敬老・子ども等行事	-20	-18	+6	①-25		スポーツ	-15	-10	-7	-7
健康体操・講座	-17	-16	-7	-10		全町スポーツ大会	-9	-5	-2	-7
高齢者支援	-40	-50	-23	④-16		歴史・文化 保全活用	-22	-25	-15	-7
障害者支援	-43	-55	-34	-9		伝統文化・芸能継承	-20	-30	-12	-8

「満足度-重要度」の差の大きい項目

10-20代	①防犯(-57)	②消防・防災(-45)	③清掃、障害者(-43)	⑤高齢者(-40)
30-50代	①防犯(-73)	②消防・防災、障害者(-55)	④子どもの安全(-50)	⑤相談相手・場(-49)
60代以上	①結婚、防犯(-45)	③農地・山林管理(-39)	④消防・防災(-38)	⑤障害者(-34)

班内で共有してください(~15:20)

全住民調査で 確認したいこと	今後、地域で 進めるうえで 確認・質問したい こと、不安
	(余白)

調査の設問と、今後の懸念を(~15:25)

全住民調査で 確認したいこと 例:重要度・満足度 在住意向 困りごと・できること 各活動への参加度 &参加意向	今後、地域で 進めるうえで 確認・質問したい こと、不安
	(余白)

